

事後評価シート

| | |
|--------------|---|
| 調査研究課題名 | 北部九州地域における国際物流のあり方に関する研究 |
| 担当者 | 研究調整官 國田 淳 研究官 蹴揚 秀男 |
| 当初目標と目標達成度 | <p>物流業における近年の規制緩和や構造改革特区による各種の物流支援措置、世界経済のグローバル化の一層の進展など、物流を取り巻く環境は大きく変化している。こうした環境変化が物流に与える影響について分析することを目的に、本調査研究では北部九州を例として、東アジア物流の中長期的展望と今後の物流システムのあり方に関する検討を行った。この結果、北部九州地域の優位性を高めるための課題と対応方策について基礎的整理を行うとともに、学識経験者等による提言を取りまとめることができた。</p> |
| 調査研究内容の妥当性 | <p>本調査研究では、物流分野の規制緩和の進展や北部九州地域における国際物流の現状と、その優位性を高めるための課題と対応方策について検討を行うとともに、産業・貿易・海運・港湾・ロジスティクスの各分野における学識経験者から北部九州地域の将来展望に関する論文を執筆いただくことにより、有益な検討、整理ができたと考えている。</p> |
| 調査研究の仕組みの妥当性 | <p>国際物流の動向について専門的知見を有する(株)日通総合研究所に業務を一部委託したことにより、北部九州地域における産業・物流の現状と課題について適切に整理することができた。</p> |
| 成果と活用 | <p>成果を対外的に公表するとともに、今後の国土交通施策の検討材料として役立てる。</p> |
| その他 | <p>PRI Review2005 年夏季号に掲載済み。</p> |
| 意見 | |